

消防ヒヤリハットデータベース事例情報シート

【事例概要について】

.....

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	片側 2 車線道路において、救急出場中右側車線より、救急車前方にトラックが飛び出す。
3. 体験した事例の中心的要素	片側 2 車線道路を走行していたトラックが右側車線を緊急走行していた「救急車にきずかず車線をウインカーを点けず右側車線に変更した。トラックが右後方を確認せず進路変更をした。
4. 体験した事例の原因・理由	トラック運転者が右後方を確認せず進路変更をした事

【体験した事例の直接的原因について】

.....

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。
------------------	---------------

【体験した事例について】

.....

1. 発生日時	平成 20 年 7 月 4 日 午後 2 時頃
2. 発生した当時の天候	曇
3. 発生した活動現場	屋外：
4. 体験した事例の種類	他人が、回答者を負傷させた。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	交通事故
7. 事例体験時の活動	救急、 []
8. （7 の活動中） どのような作業中に発生したか	その他：現場へ出場中
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに 1， 2 回程度体験している。

10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[53]歳、 勤続年数[35]年、 現場経験年数[3] 年、 階級[司令補]、 同様の活動 [過去に 1, 2 回程]、 任務 [車長]
○当事者 B	年齢[53]歳、 勤続年数[30]年、 現場経験年数[3]年、 階級[司令補]、 同様の活動 []、 任務 [機関員]
○当事者 C	年齢[27]歳、 勤続年数[4]年、 現場経験年数[3]年、 階級[消防士]、 同様の活動 [過去に 1, 2 回程]、 任務 []
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

11. 事例発生経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	隊長	助手席にてサイレン及びマイクにて広報、車両前方及び左右を警戒	
経過 2	機関員	車両運行、車両前方及び左右を警戒しながら運行	
経過 3	隊員	後部座席にて救急対応準備	
経過 4			
経過 5			
経過 6			
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

● ●

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

体力、反射神経等身体能力が優れていた。危険情報を把握、予見できた。集中力、注意力があった。周囲の視界が確保できていた。現場周辺の地理を知っていた。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

はい：一般ドライバーの安全確認不足

【事故発生後の取り組みについて】

.....

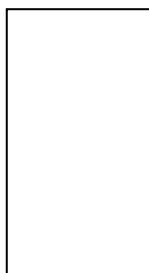
○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

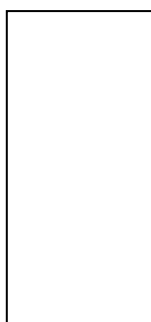
○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

バイパス上り



ウinkerを点けず
進路変更



- ・バイパス上り車線
- ・片側2車線道路
- ・1車線目渋滞の為10～20Kmで走
- ・救急車2車線目を走行中
(サイレン吹鳴及びマイクにて広報)
- ・トラックが1車線目を走行、
いきなり2車線目に進路変更

行